

臨床研究「口腔がん患者の頸部リンパ節転移および顎下腺浸潤と予後に関する検討」について

筑波大学附属病院歯科・口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

口腔がんでは原発巣の進展に伴い頸部リンパ節転移がしばしば認められます。治療は頸部郭清術が行われますが、頸部郭清術に際し唾液腺である顎下腺が同時に切除され唾液分泌低下から口腔乾燥を生じる可能性が指摘されています。また、予後を良くするために行われる予防的な郭清郭清術の有効性ははっきりしていません。そのため、口腔がんの頸部郭清術に際し、口腔乾燥を防ぐために顎下腺を保存することが可能か、病理組織学的に腫瘍の顎下腺浸潤の有無を調査し、さらに、予防的な頸部郭清の有用性を評価することを目的としました。

② 研究対象者

2011 年 1 月～2021 年 12 月当院歯科・口腔外科において口腔がんと診断され、手術で頸部郭清術を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 12 月 31 日まで

④ 研究の方法

診療記録より⑤の項目を収集し、統計処理により、顎下腺浸潤の有無と危険因子、予後および予防的頸部郭清術の予後不良因子の検索を行います。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録：年齢、性別、TNM 分類、Stage 分類、病理組織学的所見（顎下腺浸潤、転移リンパ節数、リンパ節外浸潤の有無、転移部位など）、術式、再発、局所転移、遠隔転移、予後、生存期間

⑥ 試料・情報の利用及び提供を開始する日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始日：2023 年 11 月 1 日

提供開始日：該当なし

⑦ 試料・情報の第三者への提供について

なし

⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者

山縣 憲司

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 顎口腔外科学

准教授

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：歯科・口腔外科・山縣 憲司

電話・FAX：029-853-3870（平日 9～17 時）